

令和元年度堀江北小学校 保護者学校評価アンケート

令和元年12月実施
(回収率 91.3%)
○4.3%

※昨年度の「①とてもあてはまる・まあまああてはまる」と比較し、増加（○，◎）と減少（△，▲）を％で表しています。

保護者アンケート項目	（令和元年度）	
	1・2・3年	4・5・6年
1. 子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる。	△ 3.7%	○ 3.0%
①とてもあてはまる・まああてはまる	88.9%	74.3%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	11.1%	25.7%
③無答	0%	0%
2. 子どもの学力の状況はよく分かっている。	△ 3.4%	△ 1.2%
①とてもあてはまる・まああてはまる	87.3%	89.2%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	11.1%	10.8%
③無答	1.6%	0%
3. 学校は、基礎的な学力定着に熱心に取り組んでいる。	▲ 8.2%	○ 1.6%
①とてもあてはまる・まああてはまる	82.5%	83.8%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	17.5%	16.2%
③無答	0%	0%
4. 学校は、子どもの体力づくりに熱心に取り組んでいる。	△ 2.7%	△ 1.1%
①とてもあてはまる・まああてはまる	71.4%	77.0%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	27.0%	23.0%
③無答	1.6%	0%
5. 学校は、子どもの学習規律の定着に熱心に取り組んでいる。	▲ 6.4%	○ 0.2%
①とてもあてはまる・まああてはまる	82.5%	82.4%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	15.9%	17.6%
③無答	1.6%	0%
6. 子どもは、家庭学習（宿題）をきちんとしている。	△ 0.2%	○ 2.9%
①とてもあてはまる・まああてはまる	90.5%	86.5%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	9.5%	13.5%
③無答	0%	0%
7. 子どもは、自分のよいところを理解している。	△ 3.2%	△ 6.5%
①とてもあてはまる・まああてはまる	74.6%	70.3%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	25.4%	28.3%
③無答	0%	1.4%
8. 子どもがよいことをしたときは、積極的に褒めている。	○ 0.5%	○ 1.4%
①とてもあてはまる・まああてはまる	96.8%	94.6%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	3.2%	5.4%
③無答	0%	0%

保護者アンケート項目	(令和元年度)	
	1・2・3年	4・5・6年
9. 子どもは何事にも粘り強く取り組む。	△ 1.2%	◎ 7.3%
①とてもあてはまる・まああてはまる	63.5%	63.5%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	36.5%	36.5%
③無答	0%	0%
10. 子どもが粘り強く取り組めるよう、家庭でも応援している。	△ 5.5%	○ 0.1%
①とてもあてはまる・まああてはまる	88.9%	87.8%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	11.1%	12.2%
③無答	0%	0%
11. 子どもは、自分の身のまわりのことを自分でしている。	▲ 8.4%	△ 3.8%
①とてもあてはまる・まああてはまる	73.0%	74.3%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	27.0%	25.7%
③無答	0%	0%
12. 子どもは、ルールを守る意識が育っている。	△ 2.3%	▲ 7.8%
①とてもあてはまる・まああてはまる	92.1%	81.1%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	7.9%	18.9%
③無答	0%	0%
13. 子どもは、先生、友だち、近所の人に進んであいさつをしている。	△ 1.1%	△ 2.5%
①とてもあてはまる・まああてはまる	73.0%	82.4%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	27.0%	17.6%
③無答	0%	0%
14. 子どもは、人のことを大切にして、友だちと仲よくしている。	△ 3.2%	○ 1.3%
①とてもあてはまる・まああてはまる	96.8%	94.6%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	3.2%	5.4%
③無答	0%	0%
15. 子どもと社会や将来のことを話し合っている。	△ 5.3%	○ 4.7%
①とてもあてはまる・まああてはまる	54.0%	64.9%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	46.0%	35.1%
③無答	0%	0%
16. 子どもは、学校のことをよく話してくれる。	▲ 8.7%	△ 2.4%
①とてもあてはまる・まああてはまる	74.6%	75.7%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	25.4%	24.3%
③無答	0%	0%
17. 子どもは、楽しんで学校に行っている。	▲ 11.1%	○ 3.5%
①とてもあてはまる・まああてはまる	88.9%	87.8%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	11.1%	12.2%
③無答	0%	0%
18. 子どもが、交通ルールを守るよう、働きかけている。	▲ 6.3%	△ 5.4%
①とてもあてはまる・まああてはまる	93.7%	93.2%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	6.3%	6.8%
③無答	0%	0%
19. 子どもと防災のことについて、家で話し合っている。	△ 1.3%	○ 3.4%
①とてもあてはまる・まああてはまる	52.4%	59.5%
②あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	47.6%	40.5%
③無答	0%	0%

保護者アンケート項目	(令和元年度)	
	1・2・3年	4・5・6年
20. 学校は、いじめや生徒指導の問題について、素早く対応してくれる。	△ 3.7%	○ 2.9%
① とてもあてはまる・まああてはまる	88.9%	82.4%
② あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	9.5%	16.2%
③ 無答	1.6%	1.4%
21. 学校から、情報が十分発信されている。	◎ 6.1%	○ 4.5%
① とてもあてはまる・まああてはまる	85.7%	83.8%
② あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	14.3%	16.2%
③ 無答	0%	0%
22. 学校行事などに、積極的に参加している。	○ 3.2%	◎ 12.5%
① とてもあてはまる・まああてはまる	92.1%	89.2%
② あまりあてはまらない・まったくあてはまらない	7.9%	10.8%
③ 無答	0%	0%

【 考 察 】

- 1 低学年（1・2・3年）、高学年（4・5・6年）全体で、
「とてもあてはまる」「あてはまる」が90%以上の項目は、
8の『子どもがよいことをしたときは、積極的に褒めている。』
14の『子どもは、人のことを大切にして、友だちと仲よくしている。』
18の『子どもが、交通ルールを守るよう、働きかけている。』
22の『学校行事などに、積極的に参加している。』
の4項目であった。

「とてもあてはまる」「あてはまる」が85%以上の項目は、
2の『子どもの学力の状況はよく分かっている。』
6の『子どもは、家庭学習(宿題)をきちんとしている。』
10の『子どもが粘り強く取り組めるよう、家庭でも応援している。』
12の『子どもは、ルールを守る意識が育っている。』
17の『子どもは、楽しんで学校に行っている。』
の5項目であった。

- ① 保護者が家庭で子どもを認め、ほめ、共感していることで、子どもたちは自分の存在を尊いものだと考え、『自分も人も大切にする』子ども、粘り強く取り組む子どもが育ってきているが、「粘り強くがんばることができる(75.0%)」「自分にはよいところがある(74.3%)」と自己評価は低い。来年度も人との出会い、ふれあいを大切にしながら、子どもたちの自己肯定感、自己有用感を高めていきたい。
- ② 毎日の交通指導等、子どもたちの安全を保護者が守ってくれていることを子どもたちも認識している。学習や生活の決まりを守ることをについて、保護者の方に堀北ルールを提示し、ご協力をいただきながら、さらにルールを守る意識、実践力を高めていきたい。
- ③ 児童の「学校へ行くのが楽しい」は、77.7%であったので、より児童理解を深め、児童についても90%以上をめざしていきたい。

2 低学年（1・2・3年）、高学年（4・5・6年）ともに「とてもあてはまる」「まああてはまる」が、低い項目は「4・5・7・9・11・13・15・16・19」の9項目であった。

① 項目4・5：

児童の「先生はいつも分かりやすく教えてくれている」は、低学年では100%、高学年も90%を超えているが、子どもたちの学習意欲について、十分でないと考えている保護者の方も多し。学習規律の定着、家庭学習についても80数%であることから、学校から学校での学習の様子や、「家庭学習についての手引き」の説明などを詳しく伝え、より強い連携のもとで、子どもたちの学力向上に努めたいと考える。また、体力づくりについても、今年度同様、外部講師を招いたり、業間での外遊びなどを推奨したりして、子どもたちの健康な体づくりに努めたい。

② 項目7：「自分のよいところを理解している」の項目は、70%前半であり、児童の「自分にはよいところがある」の75%と同様、課題がある。家庭でも「積極的に褒める」の項目が95%近くあり、子どもたちの自己肯定感をさらに高めるために、SWPBS「ポジティブな行動支援」の取組を保護者、地域とチームになって実践し、「認め」「ほめ」「励まし」「伸ばす」支援を続けていきたい。

③ 項目9：「粘り強く続けること」は、高学年の保護者の回答が上昇してきている。項目10にもあるように、家庭でも粘り強く取り組めるよう支援している。しかし、順序よく筋道立てて考え、判断することが苦手な子どもが多い。目的意識をしっかりともち、主体的に取り組み、成功体験をふやす学習、生活ができるよう継続して指導していきたい。

④ 項目11：「自分のことは自分でする」は、全体的に下がってきている。項目10にもあるように、家庭でも粘り強く取り組めるよう支援している。「自分でできることをふやそう」をめあてに、家庭と協力して取り組んでいきたい。

⑤ 項目13：子どもたちはあいさつ運動に取り組み、朝の「おはようございます」のあいさつは、地域の方々からも、お褒めのことばをいただいている。朝のあいさつを、「ありがとうございます」の感謝の気持ちへとつなげ、家族の一員として、また地域の一員としての自覚を育てたい。

⑥ 項目15：「家庭で社会のことや将来の具体的なことについて話す機会」は、昨年度より高学年はふえている。自分の将来を見通したキャリアプランを立て、目標の達成、夢の実現に向けた取組の大切さについて、学校と家庭が協働して子どもたちに話していきたい。

⑦ 項目16：項目22「学校行事などへの積極的な参加」の割合が90%を超えている。学校、学年行事等への保護者への参加の呼びかけをできるだけ行うようにしている。また、人権学習ファイル等を持ち帰って、保護者とともに考える機会等ももうけている。これらをきっかけとして子どもとの会話の時間を増やせるような話題づくりができればと考えている。

⑧ 項目19：防災教育は、学校だけでなく家庭での話し合いが重要である。9月には、幼稚園、こども園と一緒に避難訓練を行った。学習発表会の後、引き渡し訓練を実施した。いつ、どこで遭遇するか分からない災害に向けて、家族や地域と連携した避難訓練等をおこなうことで「自分の命を自分で守る」活動につなげていきたい。